

令和7年11月4日

第5次高松市生活排水対策推進計画（案）について

高松市生活排水対策推進計画の経緯

平成 2 年

国

水質汚濁防止法一部改正

都道府県知事・・・「生活排水対策重点地域」の指定により
関係市町村・・・「生活排水対策推進計画」の策定が義務付け

平成 4 年

県

「高松地区生活排水対策重点地域」指定

平成 5 年

市

「高松市生活排水対策推進計画」策定

計画的・総合的に生活排水対策を推進し、公共用水域の水質改善を図る

平成 8 年

県

「香川県全県域生活排水処理構想」策定

生活排水処理施設の効率的かつ適性な整備を進めるため、市町と連携して策定

以降、県の処理構想と整合を図りながら、推進計画を見直し

平成28年
～令和7年

県

「第4次香川県全県域生活排水処理構想」

市

「第4次高松市生活排水対策推進計画」

現計画

令和 8 年～

県・市

次期計画に移行 「計画期間：令和 8 年度～17 年度」

第5次高松市生活排水対策推進計画（案）の概要

① 生活排水対策の基本理念

- 「生活排水処理施設の整備」と「生活排水対策に係る啓発」を両輪とします。
- 生活排水処理施設の整備は、公共下水道と合併処理浄化槽により、計画的かつ効率的に推進します。
- 生活排水対策に関する啓発を継続的に推進し、市民の意識高揚を図ります。

② 生活排水対策の基本方針

生活排水処理施設の整備（ハード面）

- 公共下水道の整備推進（下水道事業計画区域内）
- 合併処理浄化槽の設置促進（上記以外）

生活排水対策に関する啓発（ソフト面）

- 家庭での対策
- 意識の高揚（下水道への接続、浄化槽の適正な維持管理）
- 環境づくり・人づくり

③ 目標水質

目標水質のイメージ

- 安全で良質な水源の確保
- ホタルが舞う川
- 魚が棲む川
- 市民が憩える水辺

水質目標

- 中間年次（現状水質の改善）
- 目標年次（環境基準値の達成）

④ 目標年次

目標年次

- 目標年次 令和17年度（県が策定中の全県域生活排水処理構想と整合）
- 中間年次 令和12年度（内容の点検、社会情勢の変化等を踏まえた見直し）

⑤ 公共下水道の整備状況

計画の概要及び整備状況（令和6年度末）

処理区名	高松市公共下水道事業計画				現況整備状況	
	下水道全体計画区域 (計画目標年次令和26年度)		事業計画区域 (計画目標年次令和7年度)			
	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	計画面積 (ha)	計画人口 (人)	整備面積 (ha)	人口 (人)
東部	3,348.2	151,310	3,241.2	158,660	2,805.3	156,031
牟礼	816.4	14,260	616.6	15,410	468.0	15,882
庵治	320.0	3,380	145.5	3,140	117.7	3,473
西部	高 松	2,124.2	73,680	1,500.2	69,700	1,245.2
	塩 江	72.7	670	59.9	840	56.1
	香 川	479.0	11,010	403.3	12,160	290.8
	香 南	320.0	3,710	253.0	4,120	218.4
	国分寺	416.0	11,590	350.0	11,570	310.2
計		7,896.5	269,610	6569.7	275,600	5,511.7
					行政人口	416,120

事業計画目標と現況整備状況の比較

費用対効果の高い区域から計画的に整備を進めた結果

計画面積の約84%
計画人口の約97%
となっています。

※今後、人口減少の影響で、整備面積と比較して計画人口の伸びの鈍化が予想されています。

⑥ 浄化槽の設置状況

既存合併処理浄化槽及び単独処理浄化槽状況

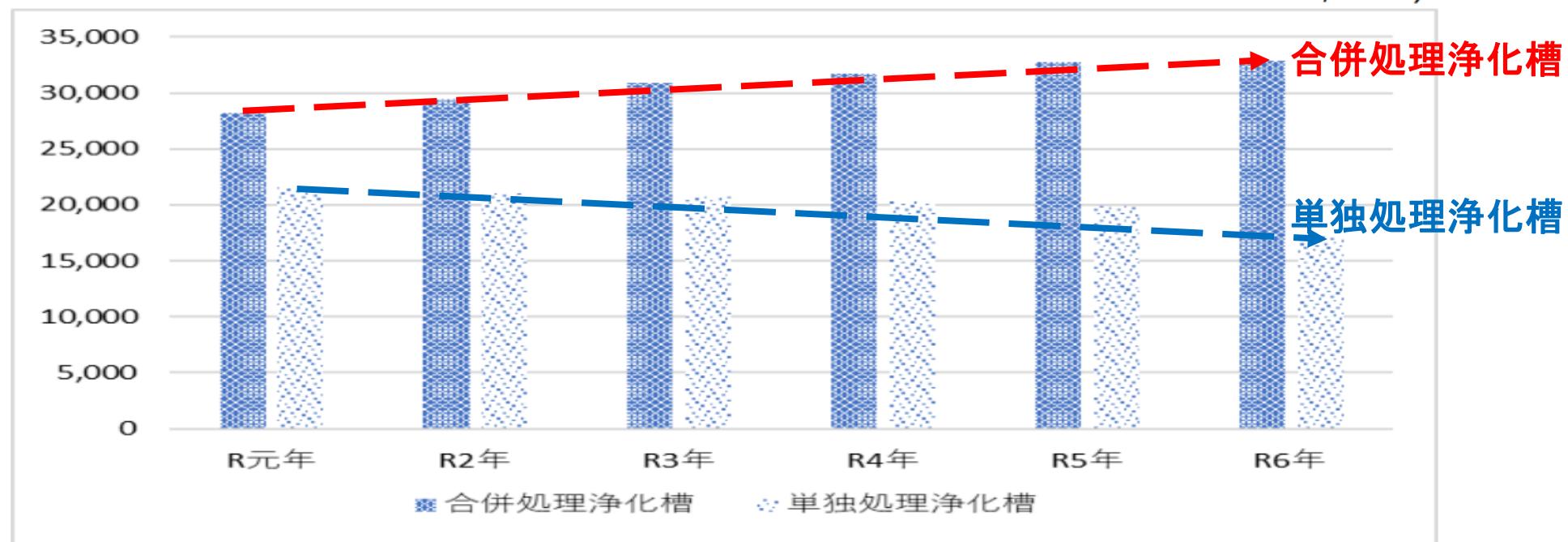
単位：基

	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
合併処理浄化槽	28,219	29,448	30,857	31,735	32,707	32,895
単独処理浄化槽	21,497	21,023	20,684	20,305	19,892	17,140

資料：下水道業務課資料（補助金の交付対象を、転換のみに変更したR元年度以降の推移）

※下水道供用開始区域内は除く。

※R6年度以降は休止中の浄化槽基数を除く。（休止基数 合併処理浄化槽：919基 単独処理浄化槽：2,429基）



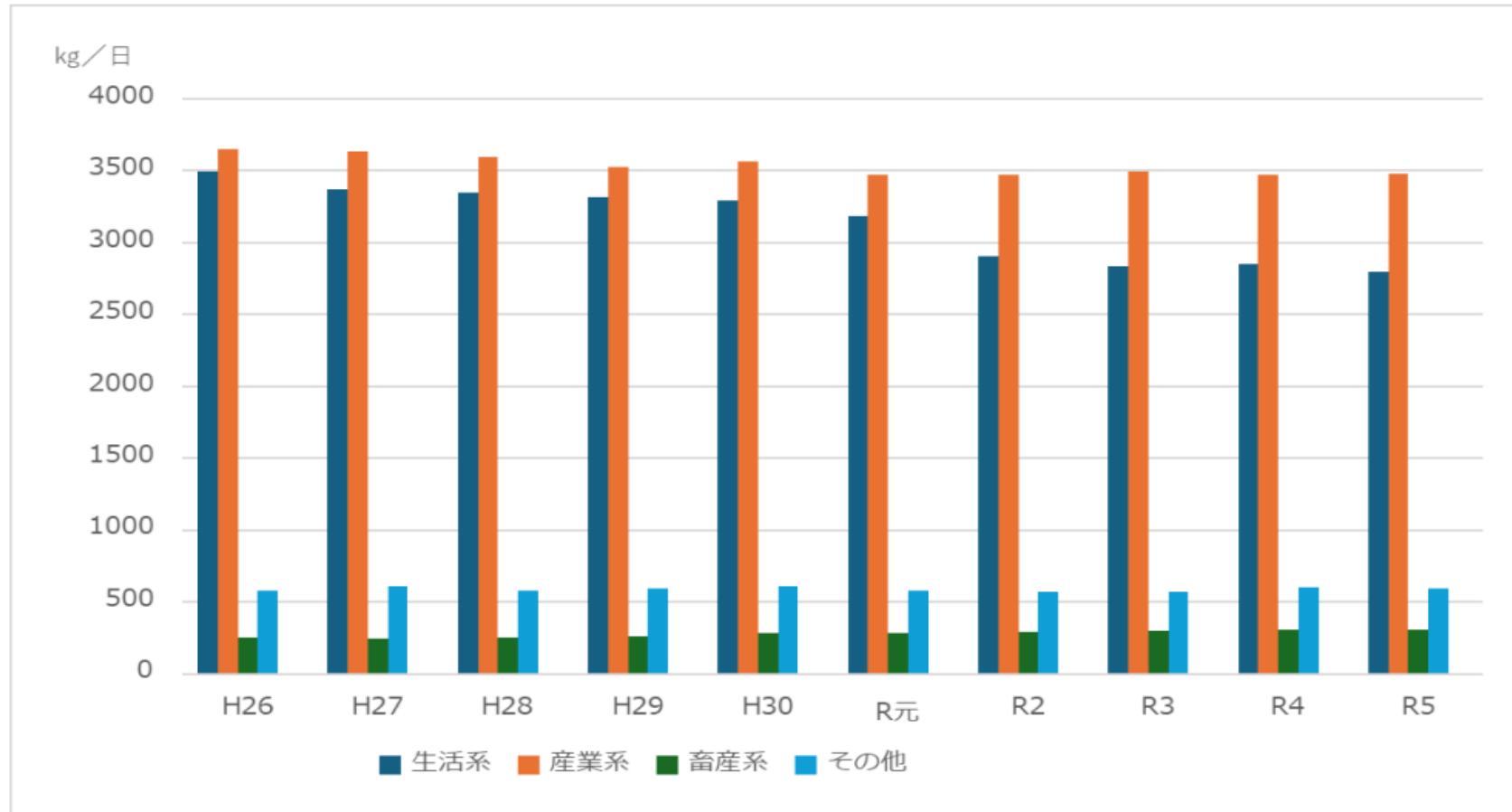
※令和元年度以降、転換を対象に補助を行っており、単独処理浄化槽は減少傾向にあります。
1万7千基を超える単独処理浄化槽があることから、継続した取り組みが必要です。

⑦ 汚濁負荷量

これまでの取組の結果、生活系の汚濁負荷量は、減少を続けています。

産業系の事業場排水の規制とともに生活排水対策を継続する必要があります。

汚濁負荷量の推移（COD）



資料提供：香川県環境管理課

⑧ 生活排水処理施設整備の推移

区分		現況 令和6年度	中間年次 令和12年度	目標年次 令和17年度	
処理人口	公共下水道	整備面積 (ha)	5,511.7	5,529.5	
	整備区域内人口 (人)	268,497	255,848		
	処理人口 (人)	250,182	242,133		
	ミニフラット農集排	整備面積 (ha)	18.8	18.8	
		整備区域内人口 (人)	191	162	
		処理人口 (人)	191	162	
合併処理浄化槽人口 (人)		105,486	106,986	108,081	
生活排水処理施設整備人口 (人) 計 A		374,174	362,996	358,502	
未処理人口	単独処理浄化槽人口 (人)	35,336	27,129	22,449	
	計画収集人口 (人)	6,610	5,653	4,724	
	自家処理人口 (人)	0	0	0	
	生活雑排水未処理人口 (人)	41,946	32,782	27,173	
行政人口 (人) B		416,120	395,778	385,675	
汚水処理人口普及率(%) A／B		89.9	91.7	93.0	

年間約 3 ha の整備

既存施設の有効利用

転換の促進

R17 : 約1.6万人減少

R17 : 約3.0万人減少

⑨ 高松市生活排水処理施設整備計画図

令和5年度

公共下水道整備面積
5, 508. 5ha

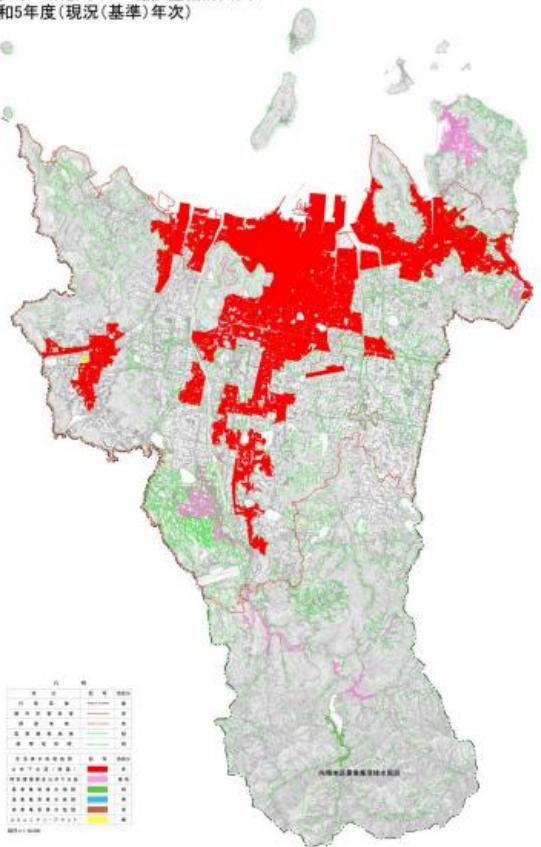
令和12年度

公共下水道整備面積
5, 529. 5ha

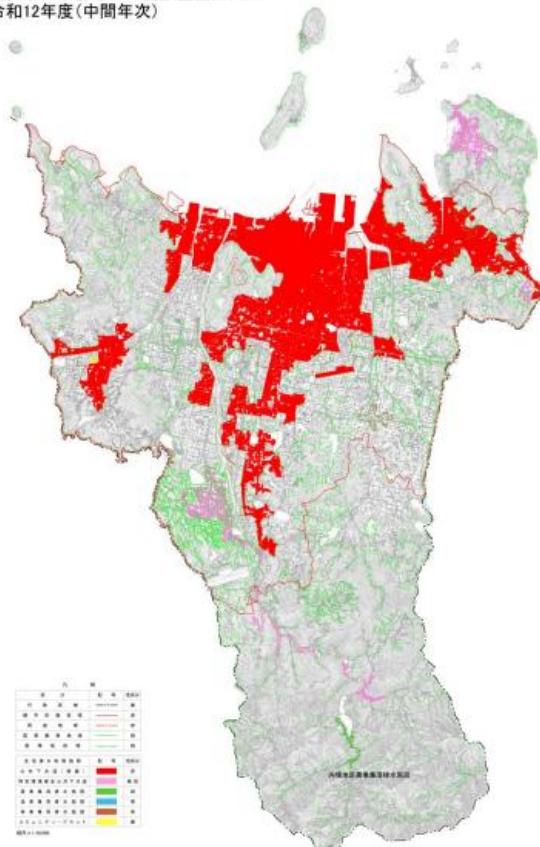
令和17年度

公共下水道整備面積
5, 544. 5ha

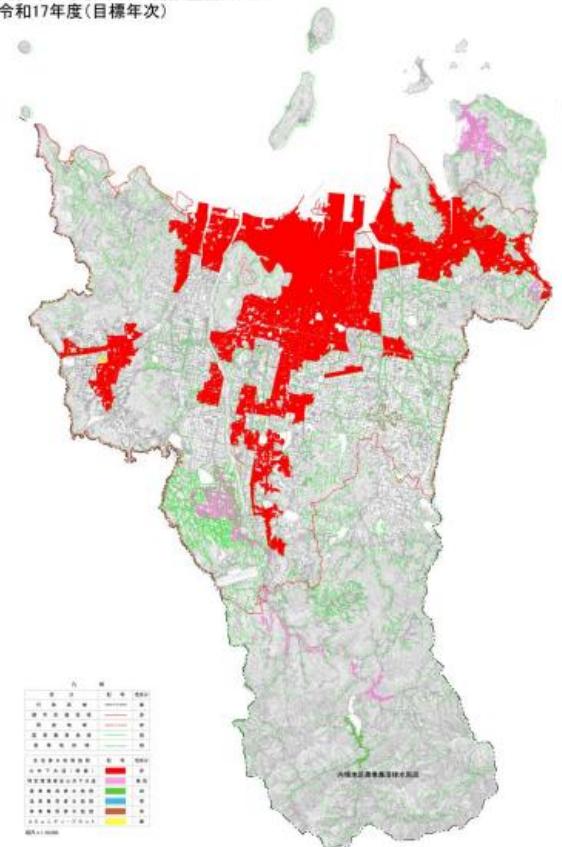
高松市生活排水処理施設整備計画図
令和5年度(現況・基準)年次



高松市生活排水処理施設整備計画図
令和12年度(中間年次)



高松市生活排水処理施設整備計画図
令和17年度(目標年次)



○赤色と桃色は公共下水道の整備区域 ⇒ 年間約3haの整備を行います

○黄色はコミュニティプラントの整備区域 ⇒ 既存施設を有効利用します（18.8ha）

○それ以外は、合併処理浄化槽の整備区域 ⇒ 単独処理浄化槽、汲み取り便所からの転換を促進します

⑩ 目標水質と目標年次

水域名	環境基準値 (mg/L)	現況水質 R 6 達成状況	目標の設定	
			R 12 中間年次	R 17 目標年次
牟礼川	3	○2.5	現況水質の改善	○
相引川	8	○6.8		○
新川	3	× 6.7		×
春日川	3	× 3.2		○
詰田川	5	○3.0		○
御坊川	10	○3.5		○
杣場川	8	○3.2		○
摺鉢谷川	5	○1.3		○
香東川下流	3	○1.5		○
香東川上流	2	○1.1		○
本津川下流	3	× 4.6		×
本津川上流	2	× 3.5		×

未達成⇒達成

※環境基準値：BOD (mg/L)

※現況水質：河川のBOD 7 5 %値 (mg/L)

1 汚水処理人口普及率

- 下水道、合併処理浄化槽などの生活排水処理施設の整備状況を表す指標

令和6年度（基準年） 12年度（中間年次） 17年度（目標年次）

89.9%

91.7%

93.0%

うち下水道

(64.5%)

(64.6%)

(64.9%)

合併処理浄化槽等 (25.4%)

(27.1%)

(28.1%)

(今後の人団動態、下水道の整備計画や合併処理浄化槽の普及実績から推計)

2 河川環境基準達成率（補完指標）

- 類型指定されている10河川12地点の内、環境基準が達成された割合を示したもの

令和6年度（基準年）

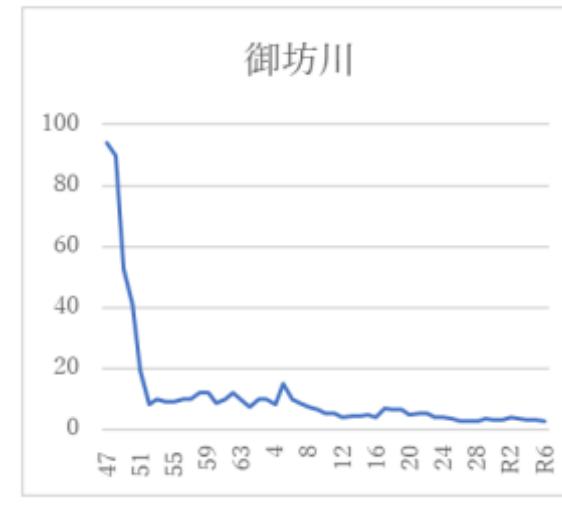
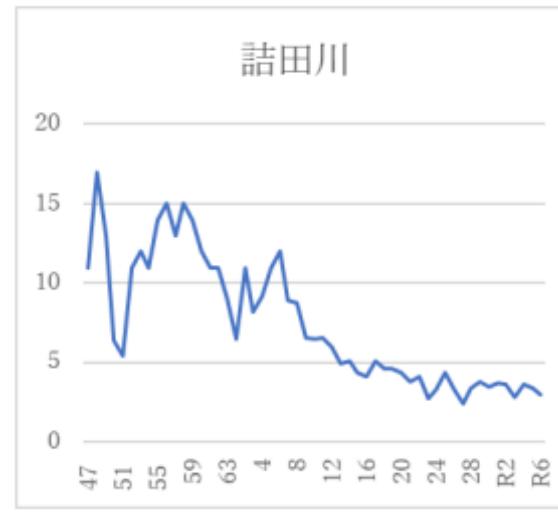
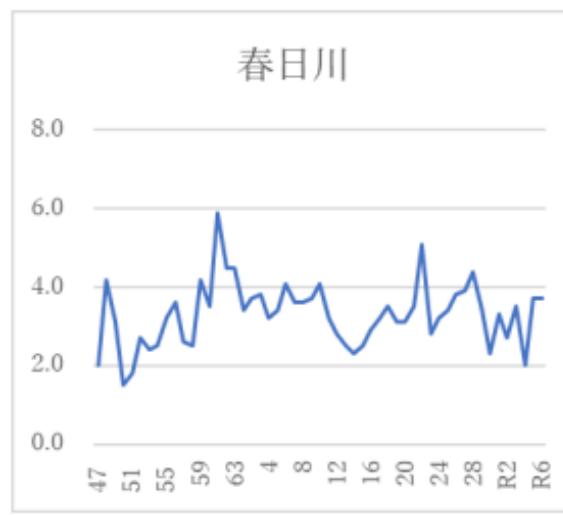
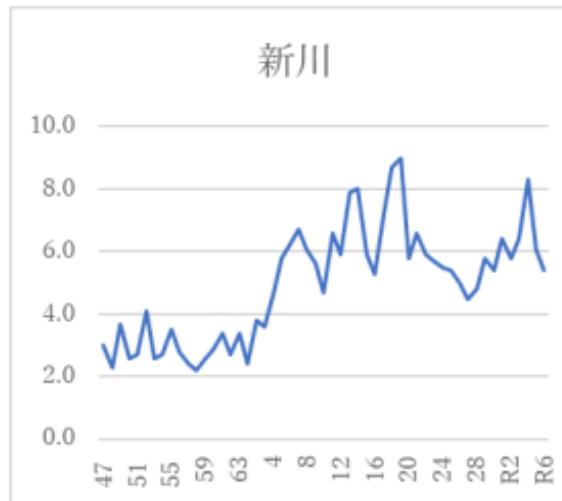
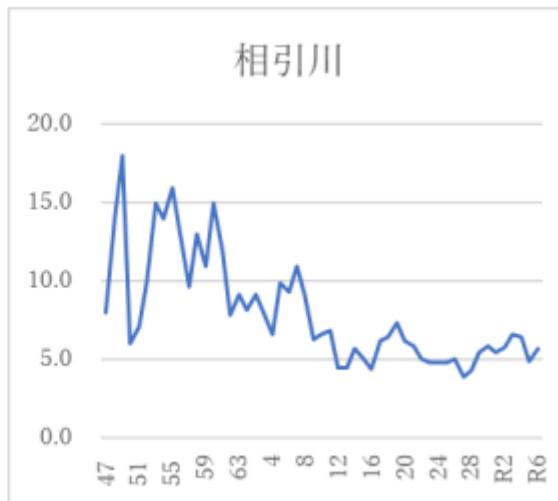
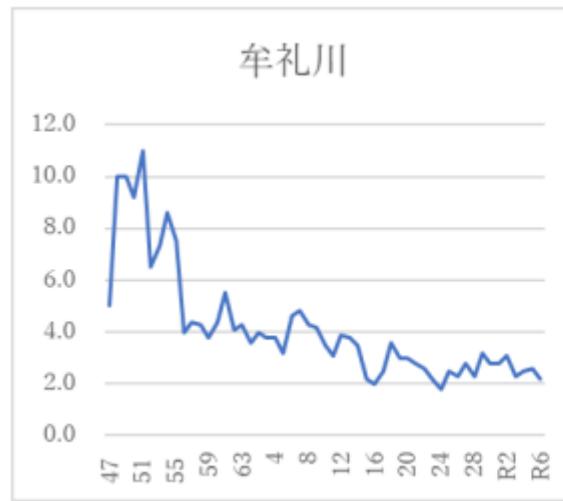
7河川8地点が達成

令和17年度（目標年次）

8河川9地点が達成

⑫ 生活排水対策による改善効果

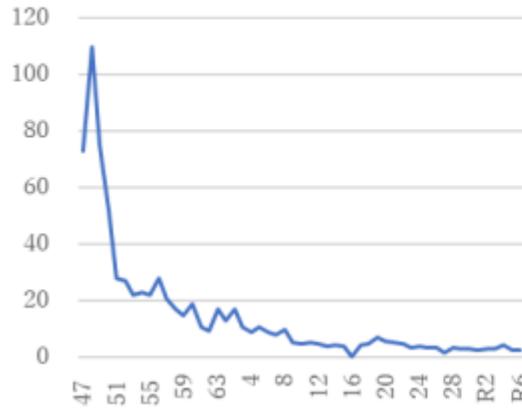
河川のBOD年平均値



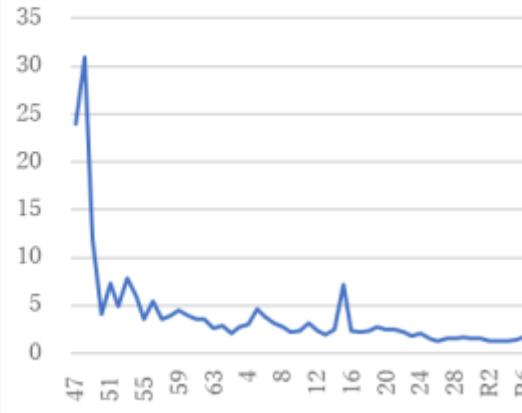
⑬ 生活排水対策による改善効果

河川のBOD年平均値

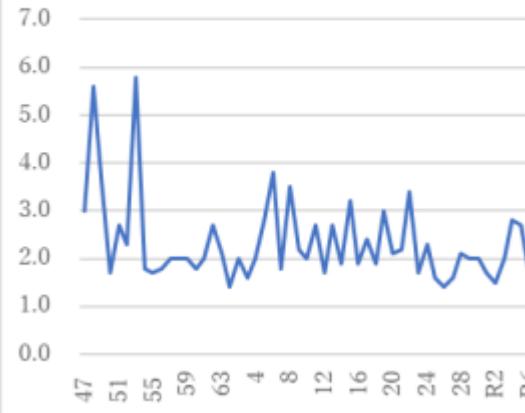
杣場川



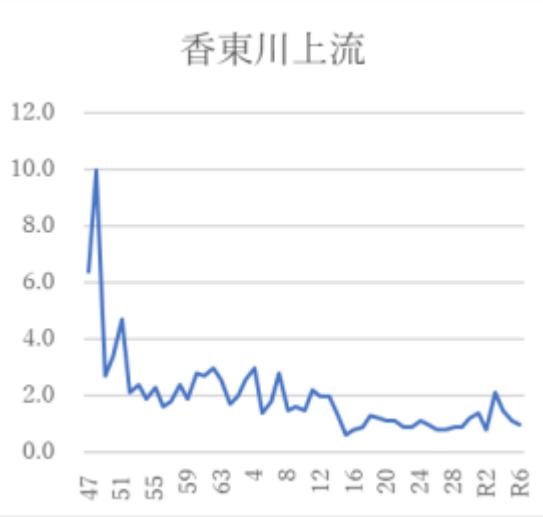
摺鉢谷川



香東川下流



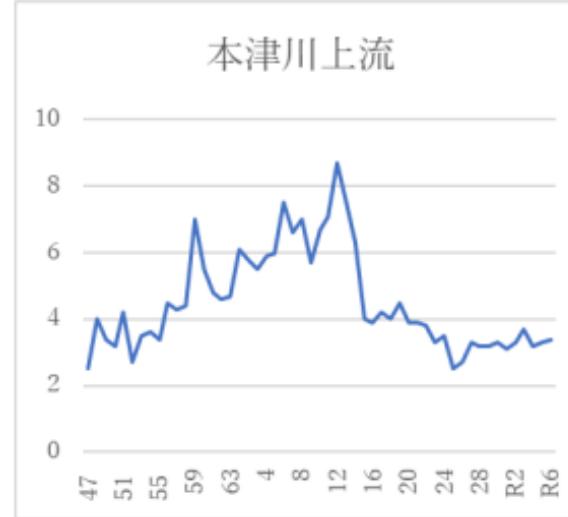
香東川上流



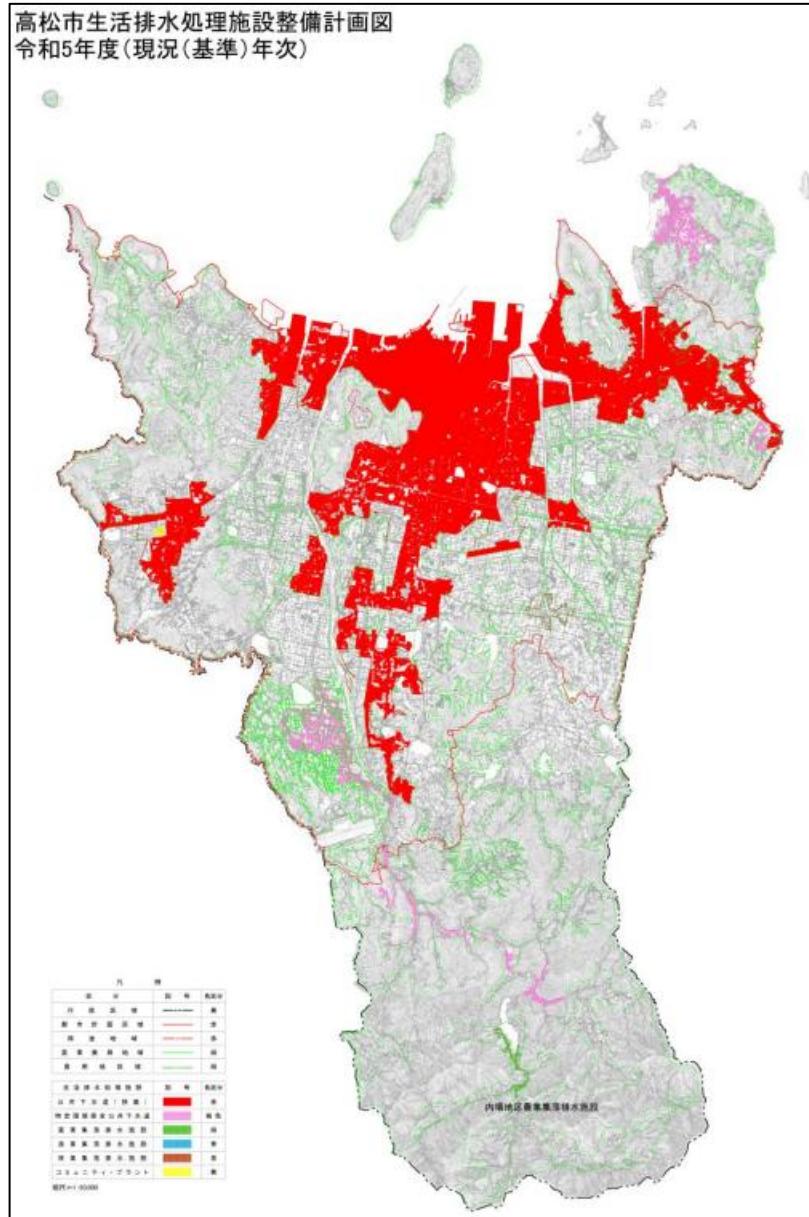
本津川下流



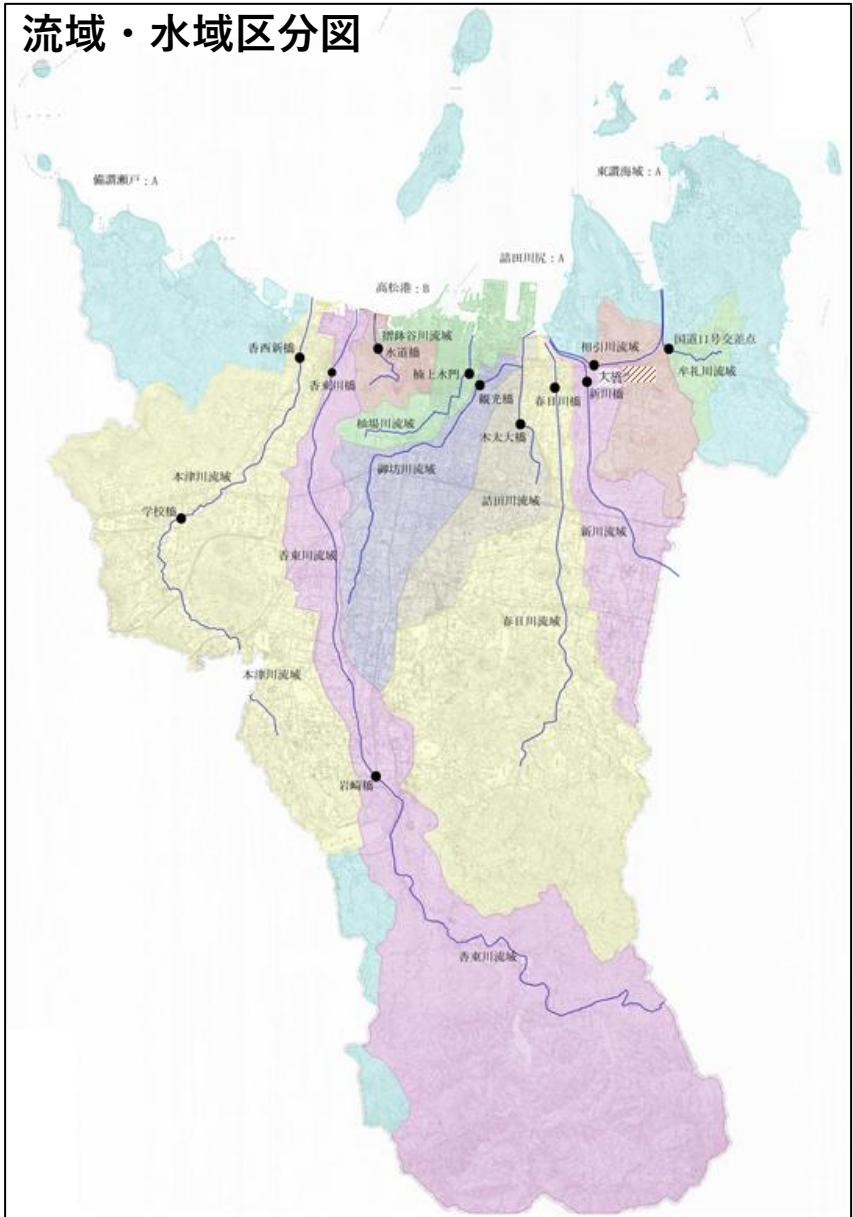
本津川上流



高松市生活排水処理施設整備計画図 令和5年度(現況(基準)年次)



流域・水域区分図



⑯ 生活排水処理施設の整備計画（ハード面）

① 公共下水道の整備について

- 下水道事業計画区域内の未整備地区は、計画的に公共下水道を整備します。
- 多核連携型コンパクト・エコシティの考え方等との整合を図る観点から、下水道事業計画区域の拡大を行わないことを基本とします。
- 接続率の向上を図ります。

② 合併処理浄化槽の設置について

- 下水道事業計画区域外は、くみ取り便所や単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進します。
- 下水道事業計画区域内の下水管の整備が困難な箇所は、合併処理浄化槽による対応など、より効率的な生活排水対策を推進します。

③ 社会情勢等の変化への対応

- 社会情勢の変化を踏まえつつ、持続可能かつ適切な整備、並びに効率的な維持管理を踏まえた見直しを行います。

⑯ 生活排水対策に係る啓発活動（ソフト面）

①家庭での対策

- 台所での対策
残飯等排出抑制、廃食油の適正処理、洗剤の適正使用など
- 洗たく、入浴時の対策
洗剤の適正使用、残り湯再利用など
- 生活排水処理施設の整備等
下水道への接続、合併処理浄化槽の適正な維持管理など

②生活排水対策に対する意識の高揚

- 普及啓発の実施
広報、ホームページ

③生活排水対策を推進する環境づくり・人づくり

- 環境学習を進める
学校での環境教育、親子下水道教室の開催など
- 水に親しむ生活を目指す
水辺の清掃活動、水質検査、水辺教育開催など

⑯ 今後のスケジュール

業務内容	R7年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第5次 生活排水対策 推進計画策定	府内推進会議 ●				■ 第2回会議			■ 第3回会議				▽ 策定・公表

←→ 庁内調整
→ 計画案作成
↔ パブコメ
↔ 県協議
● 議会調査会
● 県報告

下水道事業運営検討委員会での審議内容

第1回 (R7.5)	第2回 (R7.8)	第3回 (R7.11)
	<u>○生排計画関係</u> ・計画の方針・骨子提示	<u>○生排計画関係</u> ・計画(案)の提示